

信州大学

令和9(2027)年度学生募集要項

工学部 3年次編入学

【推薦選抜】【一般選抜】

物質化学科
電子情報システム工学科
水環境・土木工学科
機械システム工学科
建築学科



SHINSHU UNIVERSITY

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、ホームページでお知らせします。

信州大学工学部 <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>



目 次

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
2. 募集人員	4
3. 出願資格	5
4. 第3年次編入学の趣旨と注意点	6
5. 出願手続	7
6. 入学者選抜方法等	14
7. 受験票	16
8. 受験に当たっての注意事項等（当日の持ち物等）	16
9. 合格者の発表	18
10. 入学手続	18
11. 追加合格	19
12. 編入学前の既修得単位の認定等	19
13. 受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談	19
14. 個人情報の利用について	20
15. 入試情報の開示について	20
16. 工学部第3年次編入学試験実施状況	21

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（1）信州大学「入学者受入れの方針」

信州大学は、かけがえのない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であり、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神と高度の専門知識・能力を備えた個性を育てることを教育に関する目標にしています。

信州大学は、この教育に関する目標に基づき、信州大学「学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）で定めた知識・能力等を信州大学「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）で定める教育内容・方法等により卒業までに身につけるため、これらの教育に必要な高等学校修了段階の学力を有する人を求めています。

大学入学までの学習で身につけてほしいこと

高等学校等で履修した科目（各学部において大学入学共通テストで課している科目等）について十分に理解し、相応の学力を身につけていることが望めます。また、志望する学部や学科ごとに、入学後の授業内容を理解するために身につけておくべきこと（教科・科目等）が示されている場合は、それらを十分に理解していることが望めます。

（2）工学部の「入学者受入れの方針」

信州大学工学部は、豊かな教養と工学の幅広い専門知識を持ち、科学技術と環境保全との調和に深く関心を持って、社会の様々な課題を発見・解決できる工学系高度専門職業人の養成を目標にしています。そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

		該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち多様な人々と協働しつつ学習する態度
1.	大学入学前の高等学校の課程等を幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報、外国語で学習したことを身につけている	○	○	
2.	工学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、理科、外国語に優れている	○	○	
3.	科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について学ぶことに強い意欲を持つとともに学ぶために必要な論理的思考力・判断力・表現力の素養を持っている		○	○
4.	向上心があり、自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する			○
5.	工学に関わる幅広い視野を有する技術者、研究者として社会をリードしようとする意欲があり、その専門分野の技術と知識をもって、さらには多様な専門分野の技術と知識を融合することによって社会に貢献する明確な目的意識を持っている			○

《大学入学までに身につけておくべき教科・科目など》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望めます。特に、工学部での授業内容を理解する基礎となる教科である数学、理科、外国語に関しては、下記の科目の内容を理解し、身につけておくことが望めます。

数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C
理 科	物理基礎、物理、化学基礎、化学
外国語	英語の十分な読解力、表現力、会話能力

● 物質化学科の求める学生像

- 1 化学と科学技術に興味があり、それらに関わることに喜びを感じる人
- 2 化学の専門知識・技術を活用して社会に貢献したいと願う人

- 3 自分で目標を立て、それに向かって計画的かつ継続的に取り組める人
- 4 情報発信や収集に必要な国語や英語の言語力を有する人
- 5 様々な考え方を理解し、主体的かつ協調的に勉学や研究を進められる人

● 電子情報システム工学科の求める学生像

- 1 電気電子、情報、通信の各分野において、将来、技術を社会のために役立てたいと思っており、その目標に向かって行動できる人
- 2 これら3分野の先端研究に興味を覚え、自分でもやってみたいという意欲を持っている人
- 3 プログラミングや電子工作が好きな人
- 4 電子機器やプログラムのしくみ・動作に興味がある人
- 5 コンピュータの基礎から応用までを学びたい人
- 6 コンピュータのソフトウェア、ハードウェアに興味がある人
- 7 向上心があり、自ら考え、自ら行動することができる人

● 水環境・土木工学科の求める学生像

- 1 持続可能で健全な水資源の確保と保全および管理・利用に貢献したい人
- 2 水再生・造水技術に興味がある人
- 3 水環境問題や自然との共生に関心があり、学ぶ意欲のある人
- 4 安全・安心で快適な施設・環境・まちづくりに興味がある人
- 5 環境問題の解明や修復技術、防災・減災に関心があり、学ぶ意欲のある人
- 6 将来、社会と地域の発展のために貢献したい人

● 機械システム工学科の求める学生像

- 1 科学技術、工学、ものづくり、環境科学に対する情熱を常に失わず、実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- 2 技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献したいという強い意欲を持つ人
- 3 科学技術・工学の発展が社会にもたらすメリットとデメリットを十分に理解し、社会および自然環境に配慮した「人にやさしいものづくり」を目指す人
- 4 優れた技術力・知識を生かして、日本国内のみならず、国際的なフィールドでその能力を発揮できる技術者・研究者を目指す人

● 建築学科の求める学生像

- 1 学ぶ意欲と根気があり、試行錯誤をいとわない人
- 2 人の考えをふまえ、自分の考えを表現することを好む人
- 3 環境の保全に関心がある人
- 4 美しい事物への探求心がある人
- 5 自然科学系科目を十分に理解し、人文・社会系科目を苦手とせず、幅広い視野と開かれた感受性をもつ人

2. 募集人員

学 科	選抜区分		募集人員※ ¹
	推薦選抜 (一般枠・女子枠)	一般選抜	
物質化学科	○	○	20人 (10人※ ²)
電子情報システム工学科	○	○	
水環境・土木工学科	○	○	
機械システム工学科	○	○	
建築学科	○	○	

※¹ 推薦選抜と一般選抜を合わせて20人を募集します。

※² 推薦選抜(女子枠)の募集人員の目安は10人とします。

過去の合格者数等については、21 ページの「16. 工学部第 3 年次編入学試験実施状況」を参照してください。信州大学工学部ホームページ「入試情報」には、より詳細な過去の実施状況を掲載しています。

女子枠設置のねらい

日本における理系の女子学生の比率は、他国に比べて極めて低いことが OECD（経済協力開発機構）の調査からも明らかとなっています。現状、高校進学後の女子生徒の進路選択においては、理系進路の選択が敬遠される傾向にあり、この状況を改善するためには、初等及び中等教育からのマインド醸成が欠かせないと考えられます。

そこで、小中学生からの早期の段階で理系を目指す環境を作り、高等専門学校に進学する女子生徒を増加させ、高等専門学校から大学に 3 年次から進学する女子学生の受け皿を確保することを目的として、令和 7 年度入試から第 3 年次編入学試験推薦選抜に「女子枠」を設定することといたしました。

本学部においては、学生寮を一部改修し女子学生専用フロアを設けるなどの環境整備を行っており、将来技術系分野で活躍する能力を持った多様な人材を育成するための取組みを促進していきます。理系分野での活躍を志す多くの高専女子学生による、本学部への積極的な出願を期待しています。

3. 出願資格

入学者の選抜は、「推薦選抜」と「一般選抜」の 2 つの方法で行います。出願期間・試験日は、「推薦選抜」、「一般選抜」とともに同じです。「推薦選抜」と「一般選抜」への重複出願はできません。

「推薦選抜」には一般枠と女子枠の 2 つの枠を設けます。「一般枠」には、性別によらずに出願できます。「女子枠」には、性別が「女性」である者が出願できます。女子枠に出願を行った場合、女子枠と一般枠を併願したこととして扱います。

それぞれの選抜の出願資格は次のとおりです。

(1) 推 薦 選 抜（一般枠・女子枠）

高等専門学校を令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者で、出身学校長が優れていると認め責任を持って推薦し、合格した場合に入学することを確約できる者。

女子枠については、これに加え、性別が「女性」であることを出願資格とします。

なお、学校長が本学部に推薦できる人数に制限はありません。

また、学業成績に関する推薦基準の目安については、下表のとおりとします。

学科	推薦基準の目安
機械システム工学科	成績の順位が上位 30% 以内
水環境・土木工学科	成績の順位が上位 50% 以内
物質化学科 電子情報システム工学科 建築学科	目安は設けていません。

(2) 一 般 選 抜

次のいずれかに該当する者としてします。

- ① 高等専門学校を卒業した者又は令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者又は令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者
- ③ 大学に令和 9 年 3 月をもって 2 年以上在学し（休学期間を除く）、62 単位以上を修得した者又は令和 9 年 3 月までに修得見込みの者
- ④ 大学を卒業した者又は令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者
- ⑤ 学校教育法第 104 条第 7 項第 2 号の規定により学士の学位を授与された者又は令和 9 年 3 月までに授与される見込みの者

- ⑥ 外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者又は令和9年3月までに卒業若しくは修了見込みの者
 - ⑦ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者
 - ⑧ 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすもの（修業年限が2年以上、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上である専修学校専門課程）を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者又は令和9年3月までに有する見込みの者に限る。）
 - ⑨ 高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科又は特別支援学校の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
 - ⑩ 文部科学省関係構造改革特別区域法施行規則（平成15年文部科学省令第17号）第7条第2項に定める職業能力開発短期大学校（長野県地域中核人材育成特区内に所在するものに限る）において行う特定高度職業訓練を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者
- ※「出願資格⑥、⑦及び⑨」により出願しようとする者は、出願資格の確認をしますので、令和8年4月10日（金）までに工学部入試事務室に必ず問い合わせてください。

4. 第3年次編入学の趣旨と注意点

大学初年次に相応する基礎科目を、異なる教育環境で過ごしてきた学生を受け入れるために行います。このことにより、在学生への知的刺激が生まれることを期待しています。第3年次編入学では、高等専門学校、短期大学、他大学等からの学生を受け入れています。

- （1）志望学科は、出身学校において在籍した学科と同系統であることを原則とします。（（2）に関連する。）ただし、水環境・土木工学科を志望する場合は、出身学科が同系統である必要はありません。

なお、信州大学工学部の学生が出願する場合は、現在在籍中の学科には出願することができません。（改組前の学科に所属の学生は、信州大学工学部入試事務室にお問い合わせください。）

- （2）編入学が許可された場合は、令和9年4月に第3年次へ編入となります。ただし、出身学校での履修状況によっては、卒業までに要する期間が2年を超える場合もあります。

※ 出身学校で修得した単位の認定は、「出身学校の成績証明書」及び「シラバス（授業内容）」などに基づいて行います。出身学校で修得した単位がすべて認定されるとは限りません。例えば、出身学科と合格学科が同系統ではない場合などは、認定単位が少なく、2年間で卒業できない可能性が高まります。

《出身学校で修得した単位の認定スケジュール》

令和8年9月以降 単位認定に関する案内、成績証明書提出期限などの詳細通知をホームページへ掲載

令和9年3月中旬 出身学校の成績証明書提出期限

令和9年3月下旬～4月初め 信州大学で単位認定審査

令和9年4月上旬 単位認定結果通知交付

※ 日程は変更になる可能性があります。入学手続関係の通知に従ってください。

- （3）出身学校での履修状況により、卒業要件に不足する科目がある場合は、松本キャンパスにある信州大学全学教育センターにて1年生対象科目を受講することが必要となる場合もあります。

※ 例えば、専修学校出身者や、高等学校から高等専門学校に編入学した者などは、大学1年次履修対象の基礎科目の単位（外国語や教養科目等）を修得していない場合があり、松本市への通学が必要になるとともに、2年間で卒業できない可能性が高まります。

また、信州大学工学部では、3年次終了時に4年次への進級要件を設けています。

5. 出願手続

本学ではインターネットを利用した出願方法を導入しています。

(1) 出願期間

インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料の支払い	令和8年5月4日(月) ~ 5月15日(金)
出願期間 (出願書類等の郵送)	令和8年5月11日(月) ~ 5月15日(金) 17:00 (必着)

(2) 出願方法

※ インターネット出願の詳細については、10 ページからの「(7) インターネット出願の流れ」を参照してください。

Step
1

~

Step
5

出願内容の登録 (顔写真のアップロードを含む。)

この募集要項を熟読のうえ、出願する内容に間違いがないよう登録してください。

(特に、入試区分、志望学部・学科等)

Step
6

入学検定料等の支払い

① 入学検定料 30,000 円

※ その他システム利用料 (900 円)、また、入試成績開示を希望する場合は、別途手数料 (800 円) が必要となります。

② 支払期間

令和8年5月4日(月) ~ 5月15日(金)

※ 支払方法の詳細については、インターネット出願登録サイト上で確認してください。

(クレジットカード等のキャッシュレス決済)

Step
7

出願書類等の郵送

出願確認票をインターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷し、調査書等の必要書類(「(4) 出願書類等」を参照)とともに市販の角形2号封筒(240 mm×332 mm)に入れます。その封筒に出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷した宛名ラベルを貼り付け、(3) 出願書類等提出先へ簡易書留速達郵便で郵送してください。

※ 出身学校を経て提出する場合、学校は志願者各人の出願書類等を指定の宛名ラベルを貼り付けた封筒に入れ、当該学校の分を一括して提出してください。

※ インターネット出願登録サイトへの登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に
出願書類等を郵送することで完了します。

Step
8

受験票の印刷

「受験番号確定メール」を受信後、インターネット出願登録サイトから印刷してください。(※郵送はしません。)

(3) 出願書類等提出先

信州大学工学部入試事務室

〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1 TEL 026-269-5055

(4) 出願書類等(“○”…全員提出、“△”…該当者のみ提出、“―”…提出不要)

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に提出してください。

① インターネット出願登録サイトから印刷する書類等

※ 印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

	書 類 等	推薦	一般	摘 要
1	出 願 確 認 票	○	○	A4 サイズの用紙に印刷してください。(白黒印刷可)
2	宛 名 ラ ベ ル	○	○	印刷したものを市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に貼り付け、出願書類等を入れてください。

② 出願登録サイトでアップロードが必要なもの(郵送による提出不要)

3	写 真	○	○	<p>受験票用顔写真の画像ファイルをアップロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願者本人のみ(出願3か月以内に撮影した上半身、正面向き、無帽、無背景、枠なし)でカラー撮影したもの ・ファイル形式は JPEG 又は PNG とし、高画質(100KB～5MB)で撮影したもの(写真サイズは縦横比4:3) ・不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。
---	-----	---	---	---

③ 志願者が準備する書類等

4	<p>調査書又は成績証明書 (<u>厳封</u>)</p> <p>※調査書は、出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成すること。</p>	○	○	<p><u>高等専門学校を卒業見込みの者</u>、<u>短期大学を卒業見込みの者</u>、<u>専修学校を修了(見込み)の者</u>、<u>高等学校等の専攻科の課程を修了(見込み)の者</u> →調査書を提出してください。学校に書式がない場合は、成績証明書を提出してください。</p> <p><u>高等専門学校、短期大学、大学を卒業の者</u> →成績証明書又は調査書を提出してください。</p> <p><u>大学在学中の者</u> →成績証明書及び単位修得見込証明書又は履修証明書(令和9年3月までに62単位以上を修得可能であることが確認できるもの)</p> <p><u>出願資格⑤又は⑩の者</u> →関連する成績証明書(見込みの者は履修証明書等)</p>
5	卒業(見込)証明書 (在学期間証明書)	―	○	<p><u>出願資格③の者</u> →在学期間証明書(信州大学工学部ホームページから所定の様式をダウンロードし使用してください。)</p> <p><u>出願資格⑤の者</u> →学位授与証明書又は学位授与見込証明書</p>
6	出願資格証明書	―	△	<p><u>出願資格⑧の者</u> →修了する(した)課程が、文部科学大臣の定める基準を満たすものであることについて出身学校が発行する証明書</p> <p><u>出願資格⑩により出願する者</u> →修了する(した)学校が構造改革特別区法の認定を受けた地域(長野県)に設置された職業能力開発短期大学校であることについて、出身学校が発行する証明書</p> <p>※出身学校に書式がない場合は、信州大学工学部ホームページから所定の様式をダウンロードし使用してください。</p>

7 (A又はB)	(A) 在留カード又は特別永住者証明書のコピー	△	△	(A) 外国人志願者で日本在住の者 外国人志願者で、日本在住の者は、在留カード又は特別永住者証明書の両面コピーを提出してください。
	(B) パスポートのコピー	△	△	(B) 外国人志願者で海外在住の者 外国人志願者で、海外在住の者は、パスポートのコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分）を提出してください。
8	国費外国人留学生証明書	△	△	国費外国人留学生の者 出身学校が発行する証明書

④ 本学のホームページ（工学部/入試情報/学部入試/入試に関する情報 <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/undergraduate/>）から印刷して準備する書類

9	推薦書（ 厳封 ）	○	—	所定の様式をダウンロードし、 出身学校長が作成し厳封したものを提出 してください。
10	志望理由書	○	○	所定の様式をダウンロードし、所要事項を手書き（楷書）で記入してください。
11	志望理由書（追加分）	女子枠	—	所定の様式をダウンロードし、所要事項を手書き（楷書）で記入してください。

【書類記入上の注意】

- ・ 学校長作成の書類以外は、原則志願者本人が作成してください（病気・負傷や障害等のため記入が困難な場合は、保護者等が作成してください。）。
- ・ 手書きの際は黒か青のボールペン又はインクを用いて記入してください。
- ・ 誤って記入した場合は、誤った箇所に二重線を引き、訂正してください。
- ・ 様式中の※印欄は記入しないでください。

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 入学検定料支払期間内に入学検定料が支払われないもの及び出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 出願書類等の提出後は、志望学科の変更は認めません。
- ③ 受理した書類等は返還しません。
また、本学が求める出願書類以外のものは添付しないでください。
ただし、建築学科においては面接時にポートフォリオ（A1 サイズ以下）の持参を認めます。
受賞がある場合は、それを証明する書類の原本とコピー（提出用）を併せて持参してください。
- ④ 入学検定料の返還請求は、次の場合のみ受け付けます。それ以外の場合は、いかなる理由があっても支払済みの入学検定料は返還しません。返還手続方法については、本学のホームページをご覧ください。（入試情報ポータル/入学検定料返還手続 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）
 - ・ 入学検定料を誤って二重に支払った場合
 - ・ 入学検定料を支払ったが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - ・ 入学検定料免除を申請する場合
- ⑤ 提出された書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ⑥ 書類等の提出後、受信場所（本人連絡先）を変更した場合は、直ちに信州大学工学部入試事務室に届け出てください。

(6) 入学検定料免除について

信州大学では、次の要件を満たす申請者の入学検定料を全額免除します。

【入学検定料免除の要件】

志願者又はその学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する住家が全壊、大規模半壊又は半壊の被害を受け罹災証明書（写し）が提出できる場合であって、その罹災日が出願期間の最終日前1年以内であること。

※災害救助法適用地域（日本学生支援機構サイト）

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/rinji/chiiki/genzai.html>)

【申請方法】

罹災証明書を用意し、インターネット出願登録サイトから申請してください。

ただし、災害の発生が出願期間の直前等で、罹災証明書の発行が間に合わない場合は、出願時は一旦検定料を納付し、後日罹災証明書が発行され次第、入学検定料返還申請により受け付けます。

※信州大学入学検定料返還手続

(https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html)

(7) インターネット出願の流れ

次ページ以降を参照してください。

インターネット出願の流れ

※ここで示す流れは標準的なイメージであり、選抜により異なります。実際の画面に従って入力等してください。

出願完了までの流れ[Step1～8]



Step

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。学生募集要項を本学ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んだうえで出願登録を行ってください。出願書類等※は、発行までに時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類等…選抜によって異なります。(調査書、顔写真画像ファイル、大学入学共通テスト出願サイトで登録したID・パス等) 詳細は学生募集要項を参照してください。



Step

2

インターネット出願登録サイトにアクセス

学部入試、編入学



https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

大学ホームページからアクセス

大学院入試



<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/>

Step

3

新規登録・ログイン

画面の手順に従って、必要事項を入力して新規登録を行ってください。なお、新規登録が済んでいる場合は、ログインのうえStep 4へ進んでください。



① PC等の環境確認



② 注意事項の確認



③ ログイン画面から

新規登録 をクリック



④ アカウント新規登録用メールアドレス送信



⑤ 登録したメールアドレスに登録用URLが届きます。
※@kkc-net.co.jpのドメインからのメールを受信可能に設定してください。



⑥ パスワードを設定してください

登録したメールアドレスとパスワードを記録！

Step

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①入試区分等の選択
(検定料免除申請確認も含む)



②志望学部・学科等の選択



③個人情報の入力



④お支払い方法の確認



⑤入力内容の確認



⑥登録完了(確認メールも送信される)
申し込み一覧 をクリック

Step

5

顔写真のアップロード

画面の手順や留意事項を必ず確認してアップロードしてください。



①申し込み一覧の画面(※)から
写真のアップロード をクリック



②画像を選択しアップロード



画像の加工禁止

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。

Step

6

入学検定料等の支払い 【注意】まだ出願は完了していません

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って支払手続きを行ってください。



①申し込み一覧画面(※)から
検定料のお支払い をクリック



②支払方法を選択し
お支払いサイトへ をクリック



支払方法の詳細は
サイト上で確認してください
(クレジットカード
等の電子決済)

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。

Step

6.5

学部
入試

大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続【Web方式】

大学入学共通テスト出願サイトで登録したユーザーID・パスワード・申込番号を準備のうえ、留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力・登録してください。

※総合型選抜Ⅱ、学校推薦型選抜Ⅱの一部学部は「出願期間後の別に指定する登録期間に行う」STEPです。
詳細は学生募集要項を参照してください。

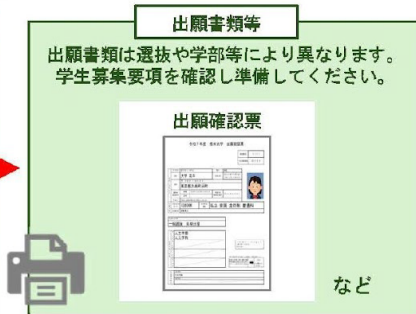
「大学入学共通テスト」
を課す選抜のみ

Step

7

出願書類等の郵送

出願登録、入学検定料の支払後に「出願確認票」「宛名ラベル」を印刷し、その他の出願書類等と併せて出願期間内に郵送してください。



①申し込み一覧画面(※)から

出願確認票 **印刷**、宛名ラベル **印刷** をそれぞれクリック

②宛名ラベル(出願書類等提出用)
を角形2号封筒に貼り付け

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。



申込登録完了後に、登録内容の修正・変更をする場合は、Step7で印刷した出願確認票の「訂正あり」欄にチェックを入れたうえ、用紙に赤字で訂正記入してください。ただし、「入試区分」、「志望学部・学科等」、「個別試験選択科目」、「試験場選択」の変更は認められません。

<出願完了>

出願時の
注意点

出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料等を支払い、出願書類等を郵送して完了となります。登録が完了しても**出願期間内に書類が届かなければ出願を受理しません**ので注意してください。出願期間は学生募集要項をご確認ください。インターネット出願登録は出願期間の約1週間前から24時間可能です。

Step

8

受験票の印刷

受験番号確定後に、インターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」画面からダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ「受験番号確定メール」を送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。(※郵送はしません)



【印刷方法】

- ・A4サイズ
- ・両面無地の白色用紙
- ・片面印刷(白黒印刷可)
- ・下半分を切り取る



印刷した受験票は
**試験当日に
必ず持参**

①受験番号確定
メール受信

②申し込み一覧画面から
受験票 **印刷** をクリック

③試験当日

6. 入学者選抜方法等

(1) 推薦選抜（一般枠・女子枠）

① 選抜方法及び配点等

入学者の選抜は、面接及び書類審査を総合して行います。また、出願枠ごとに行います。

学 科	選 抜 方 法	配 点
物質化学科	面接（英語・化学の基礎学力に関する口頭試問を含む） 及び書類審査	100
電子情報システム工学科 水環境・土木工学科 機械システム工学科 建築学科	面接（口頭試問を含む）及び書類審査	100

② 評価・採点基準

学 科	評 価 の 要 点
物質化学科	学習意欲・積極性・活動性・将来性等の人物面、英語・化学の基礎学力、面接での表現力を評価
電子情報システム工学科	基礎学力（英語・数学・専門科目）と積極性・将来性等の人物面を総合評価 専門科目は、電磁気学、回路基礎、情報基礎のいずれかを選択可 回路基礎の出題内容：電気回路、電子回路、論理回路等 情報基礎の出題内容：プログラミング、データ構造とアルゴリズム等
水環境・土木工学科	学習意欲、積極性、基礎学力、課外活動を総合評価
機械システム工学科	目的意識、意欲、基礎学力（質点系及び剛体の力学）及び論理的思考力の高さを総合評価
建築学科	積極性や個性などの人物面、理数系学力、建築に対する関心の高さ及び学習や諸活動の履歴を総合的に評価

③ 可否判定基準

上記①の選抜結果により判定します。

女子枠に出願した場合、女子枠と一般枠の各枠で判定を行います。両方合格であれば女子枠としての合格とします。

(2) 一般選抜

① 選抜方法及び配点等

入学者の選抜は、学力検査、面接及び書類審査を総合して行います。

学 科	選 抜 方 法 ※下段数字は配点の内訳			配 点
物質化学科	面接（英語・化学の基礎学力に関する口頭試問を含む） 及び書類審査			100
電子情報システム工学科	学力検査（数学） 30	面接（口頭試問） 60	書類審査 10	100
水環境・土木工学科	面接（大学1年レベルの数学に関する口頭試問を含む） 及び書類審査			100
機械システム工学科	学力検査（数学） 60		書類審査 40	100
建築学科	スケッチ・面接 80		書類審査 20	100

② 評価・採点基準

学 科	評 価 の 要 点
物質化学科	学習意欲・積極性・活動性・将来性等の人物面、英語・化学の基礎学力、面接での表現力を評価
電子情報システム工学科	基礎学力（英語・数学・専門科目）と積極性・将来性等の人物面を総合評価 専門科目は、電磁気学、回路基礎、情報基礎のいずれかを選択可 回路基礎の出題内容：電気回路、電子回路、論理回路等 情報基礎の出題内容：プログラミング、データ構造とアルゴリズム等
水環境・土木工学科	学習意欲、積極性、基礎学力、課外活動を総合評価
機械システム工学科	数学の学力及び出願書類の内容を総合的に評価
建築学科	スケッチの能力に加え、積極性や個性などの人物面、理数系学力、建築に対する関心の高さ及び学習や諸活動の履歴を総合的に評価

③ 合否判定基準

上記①の選抜結果により判定します。

(3) 選抜期日及び時間

期日：令和8年6月5日（金）

受験者入構開始時刻 8：00 受験者入室開始時刻 8：20 受験者入室完了時刻 8：40

選 抜 区 分	学 科	試験時間	内 容 等
推薦選抜	全学科	9:00～	面接
一般選抜	物質化学科	9:00～	面接
	電子情報システム工学科	9:00～10:30	数学 出題範囲：微分積分（極限、1変数及び多変数関数の微積分）、線形代数（連立1次方程式、階数、逆行列、行列式、対角化）
		数学終了後	面接
	水環境・土木工学科	9:00～	面接
	機械システム工学科	9:00～10:30	数学 出題範囲：微分積分（極限、1変数及び多変数関数の微積分）、線形代数（連立1次方程式、階数、逆行列、行列式、対角化）
		9:00～10:00	スケッチ
	建築学科	スケッチ終了後	面接

※ 入室完了時刻までに試験室に入り、指定された席についてください。

※ 16ページからの「8. 受験に当たっての注意事項等（当日の持ち物等）」も確認してください。

信州大学工学部 長野（工学）キャンパス 長野市若里4-17-1

試験場へのアクセスについては、裏表紙の「信州大学工学部試験場へのアクセス」を参照してください。



※ 受験番号確定のお知らせメールが出願期間後1週間経過しても届かない場合は、速やかに「5. 出願手続き」の「(3) 出願書類等提出先」まで問い合わせてください。

(1) 試験当日の注意事項

- 16 -

室や集合場所の建物に入る前に必ずアラーム設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまっておいてください。

- ④ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 20 分以内に自身が受験する試験室に到着した者に限り受験を認めます。
- ⑤ 交通機関の事故等により、集合時刻に間に合わない場合は、直ちに大学へ電話連絡してください。これによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。
なお、本学においては、追試験の設定はありません。
- ⑥ 災害等及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。
- ⑦ 受験の際は、公共交通機関をご利用ください。試験場への自動車の乗り入れはできません。また、近隣のスーパーやコンビニ等への迷惑駐車をしないでください。

⑧ 試験当日の持ち物

<input type="checkbox"/>	令和9年度信州大学工学部第3年次編入学試験 受験票 ※ インターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷したもの
<input type="checkbox"/>	工学部からのお知らせ ※ 下記の「(2) 工学部からのお知らせ」を参照
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	建築学科のみ：黒鉛筆（4B）及び消しゴム（練り消しも可）
<input type="checkbox"/>	時計 ※ 試験室内に時計はありません。必ず時計を持参してください。 ※ 辞書・電卓・端末等の機能のあるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、学習タイマー、大型のものは使用できません。
<input type="checkbox"/>	昼食・飲み物 ※ 各自ご用意ください。 ※ 面接集合場所での待機時間中、適宜水分補給をしてください。

- ⑨ 試験当日、受験票を紛失又は忘れた場合は、早めに試験場に行き係員に申し出てください。
- ⑩ 上履きは必要ありません。
- ⑪ 座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症を含む）の使用を希望する場合は、監督者又は面接官に申し出て許可を得てから使用してください。
- ⑫ 制服ほか服装の指定はありません。試験室内は外気温等に合わせ適宜室温調整を行っていますが、寒暑の感覚には個人差があることから、なるべく温度調節の可能な服装を心掛けてください。
- ⑬ 構内は全面禁煙です。ゴミは各自で持ち帰ってください。
- ⑭ 試験当日、駅や試験場周辺で、合否電話・電報等の申込受付やチラシの配布・勧誘等を行っている業者等がありますが、本学とは一切関係ありませんので注意してください。
- ⑮ 試験当日は、付添者は建物内（試験室等）に立ち入ることはできません。

(2) 工学部からのお知らせ

「工学部からのお知らせ」では、試験当日の「受験者集合場所」等をお知らせします。試験日の前日までに、本学のホームページから「入試情報ポータル」の「インターネット出願」にアクセスし、「受験に関する学部別のお知らせ」を印刷・熟読のうえ、**試験当日に必ず持参**してください。（入試情報ポータル／インターネット出願 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/internetshutugan/index.html）

(3) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできません。また、すでに受験した本学のすべての教科・科目の成績も無効となります。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア インターネット出願登録サイトや出願書類・解答用紙へ故意に虚偽の登録・記入（本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 志願者以外の者が志願者本人になりまして試験を受けること。
- オ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- カ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- キ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ク 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
 ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。（19 ページの「13. 受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談」を参照））
- ケ 試験時間中に使用を許可されたもの以外の用具を使用して問題を解くこと。
- コ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ② 上記①以外にも次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、①と同様です。
 - ア 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、使用を許可されたもの以外の用具、教科書、参考書、辞書等の書籍類等をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9. 合格者の発表

令和8年6月23日（火） 14時

受験者は、上記の日時以降にインターネット出願登録サイトにログインし、可否を確認してください。（同サイト内の「申し込み一覧」から「合格者発表確認」をクリック）

なお、本学ホームページや大学構内への発表掲示はありません。

（注）電話やメール等による可否の問い合わせには、応じません。

10. 入学手続

合格者は、入学手続期間中にインターネット出願登録サイトにログインし、「申し込み一覧」の「入学手続」から手続を行ってください。期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

（1）入学手続期間

令和8年8月31日（月）～9月11日（金） 締切日 17時まで

（2）納付金の納入等

① 入学料・授業料

ア 入学料 282,000 円 ※入学手続期間中に納入

- イ 授業料（前期・後期）各 267,900 円〔年額 535,800 円〕 ※入学後に口座振替で納入
（注 1） 金額は令和 8 年 4 月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。
（注 2） 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
（注 3） 入学料・授業料の納入が著しく困難な者には、経済支援の制度を設けています。詳細は本学の学生総合支援センターホームページ (https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/) を確認してください。

- ② 学生保険料（学生教育研究災害傷害保険加入料・学研災付帯賠償責任保険加入料※）、学友会費、同窓会費、後援会費等 ※入学手続期間中に納入
合計 60,000 円程度
③ システム利用料（入学手続時納入総額(①+②)の 2%の額)
④ 上記のほか、入学時にはノートパソコンや TOEIC 受験料等の教材費が、入学後には教科書購入費用が必要となります。
※ ①～③（「イ 授業料（前期・後期）」は除く）について、支払方法は「クレジットカード」「ペイジー（インターネットバンキング等）」ですが、支払限度額が設定されている場合は、限度額の変更（1～2 週間を要することがあります）をしてから手続きしてください。

（3）入学手続完了後の提出書類

4 月初めに、以下の書類を提出してください。提出がされない場合は、入学後でも入学許可が取消しとなる場合がありますのでご注意ください。

- ① 「卒業（修了）証明書」1 通
出願資格において、卒業（修了）見込みで受験し入学手続を行った者。
② 「誓約書」1 通
本人と保証人連署の本学指定様式で全員提出。詳細は「入学手続の案内」で通知予定。

（4）手続に当たっての注意事項

入学手続完了者であっても令和 9 年 3 月 31 日までに入学資格を満たすことができない者は入学を許可しません。

11. 追加合格

入学手続締切後に募集人員に欠員が生じた場合には、令和 9 年 3 月 15 日（月）までの間に、合格者を追加することがあります。

12. 編入学前の既修得単位の認定等

- （1）信州大学工学部では、編入生が編入学以前の高等教育機関で修得した科目の単位を、提出された成績証明書とシラバスなどを基に確認し、それを本学部で履修すべき科目と対応させ、信州大学工学部規程に基づいて審査し、所定の基準を満たす科目を認定します。
なお、合格した場合は、入学手続完了後に、単位認定に関する案内をホームページに掲載します。
（2）編入生については、本学の修業年限のうち 2 年間で既に在学したものとして取り扱い、編入学後の在学期間は 2 年以上、4 年以内となります。

13. 受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談

本学の志願者で、障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害、病弱等）のために受験上及び修学上の配慮が必要な場合は、事前相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願を検討している段階のなるべく早い時期に、以下の連絡先へ事前に相談のうえ、申請期限までに申請してください。

事前相談のあったものについて、本学で審査のうえ、それぞれの障害等の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定し通知します。また、必要に応じ志願者等との面談等を行うこともあります。

(注) 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

修学上の配慮については、受験上の配慮とは別に相談が必要になります。本学への入学後の障害学生支援については、学生相談センター障害学生支援室のホームページ (https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/soudan/consultation/) をご参照ください。

(1) 申請期限

令和8年4月10日(金)

※ 申請期限後に不慮の事故等により合理的配慮が必要となった場合には、速やかに申請してください。申請期限後の申請については、受験上の配慮が講じられない場合がありますので、本学の受験を検討されている場合には、なるべく早く申請してください。

(2) 提出書類

① 本学所定の事前相談申込書

本学のホームページ(入試情報ポータル/受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation/index.html) からダウンロード

② 医師の診断書や障害者手帳の写し

(3) 提出先・連絡先

信州大学工学部入試事務室

〒 380-8553 長野県長野市若里4-17-1 Tel 026-269-5055

14. 個人情報の利用について

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用いたします。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 修学指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

15. 入試情報の開示について

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数等

開示方法：本学工学部のホームページ

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/undergraduate/>)

開示時期：令和8年8月以降(予定)

(2) 数学

開示内容：出題意図、試験問題

開示方法：信州大学工学部ホームページ

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/undergraduate/>)

開示時期：令和8年8月以降(予定)

(3) 個人情報

試験成績：推薦選抜・・・総合点 一般選抜・・・総合点

開示期間：令和8年10月1日(木)～10月31日(土)

申込方法：成績開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際に、「入試成績開示請求の希望」で「希望する」を選択し、入学検定料と併せて指定の成績開示手数料をお支払いください。

出願時に成績開示を希望しなかった場合は、出願後に成績開示を希望することは出来ません。

※ 以下の場合は開示対象となりませんので、入学検定料の返還の際に、併せて成績開示手数料の返還を行います。

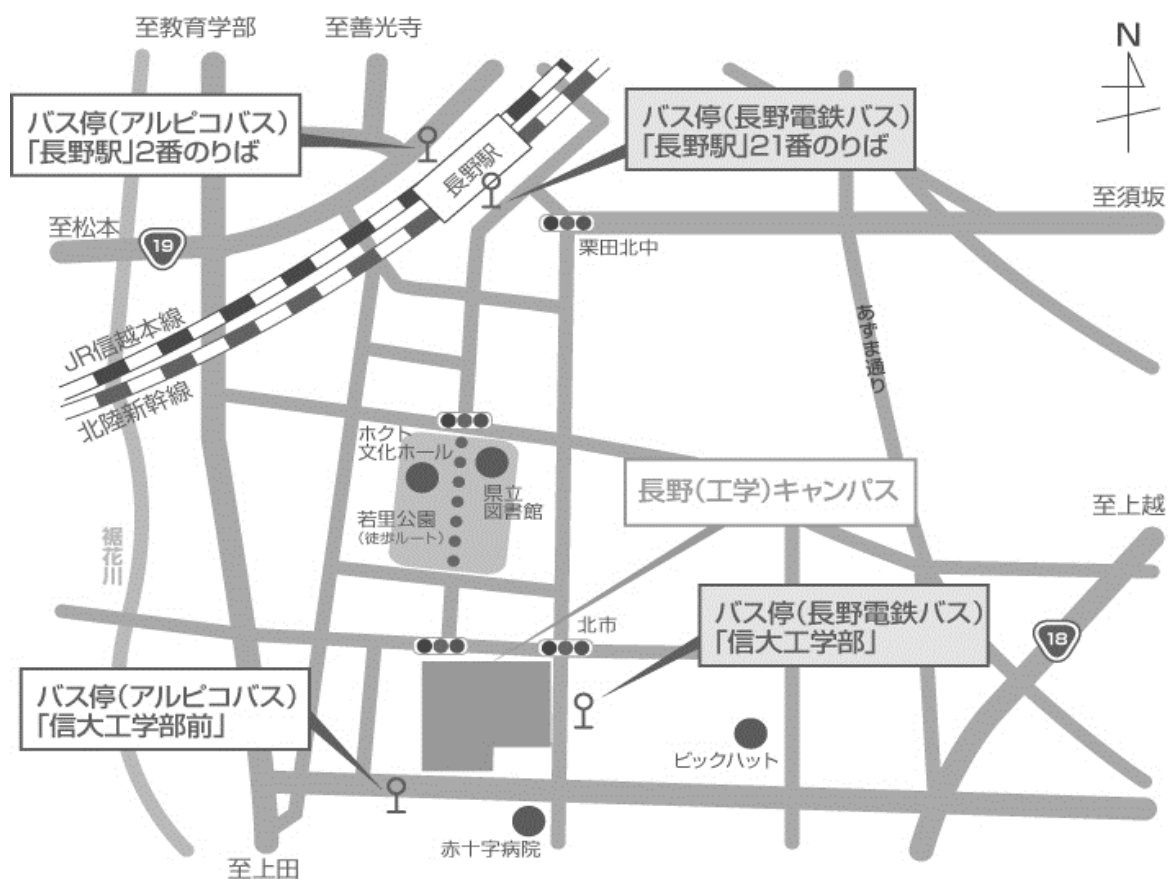
- ・成績開示手数料を納付したが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

16. 工学部第3年次編入学試験実施状況

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
募集人員	20	20	20
志願者数	175 (37)	117 (25)	119 (28)
合格者数	42 (8)	37 (12)	38 (9)

() 内は女子の人数で内数

信州大学工学部試験場へのアクセス



■長野電鉄バス利用の場合

JR 長野駅東口 21 番のりばで、長電バス「日赤線」に乗車
(5 分)、バス停「信大工学部」で下車。(土休日運休)

■アルピコバス利用の場合

JR 長野駅善光寺口 2 番のりばで、アルピコバス「日赤経由大塚南行き」「松岡行き」「サンマリーン行き」「ビッグハット行き」のいずれかに乗車 (8 分)、バス停「信大工学部前」で下車。

■徒歩

JR 長野駅東口から、徒歩20分

キャンパス内の詳細マップはWEBで…

信州大学工学部

検索

■ この要項に関する問い合わせ先

信州大学工学部入試事務室 〒380-8553 長野市若里 4-17-1 Tel. 026-269-5055

信州大学工学部ホームページ <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>

発行：令和8年2月 編集：信州大学工学部入試事務室